

タイトル	環境教育系パッケージプログラムの小学生向け実践事例
氏名(所属)	中川 貴之 (環境学習支援倶楽部)
ホームページ	http://kankyogsclub.web.fc2.com/
キーワード	
アピール文	アメリカで開発された参加・体験型環境教育のパッケージプログラム (PW、WET、PLT、GEMS、MARE など) が日本にも導入されており、これを使った授業や活動などの実践事例を、ご聴講の皆さんに体験していただきながら紹介していく予定です。
要旨	<p>アメリカでは、教師たちが授業などで利用できるように多くのパッケージ化された教育プログラムが開発され、実際に学校現場などで利用されています。</p> <p>たとえば環境や科学教育プログラムとしては以下のようなものがありますが、決して専門的な知識と経験がなければ使うことができないというものではなく、誰もが利用できるように構成され、なおかつ参加型体験学習法の理論に基づいたプログラムが実施できるように作られています。</p> <p>プロジェクトワイルド (おもに野生生物を対象に) プロジェクトWET (おもに水に関すること) プロジェクト・ラーニング・ツリー (おもに木や森林環境から) GEMS (ジェムズ) (おもに科学や数学など) MARE (マーレ) (海や海の生物に関すること)</p> <p>日本でもこれらのプログラムが導入されていますが、おもに野外活動や自然教育を実践する施設およびそういった活動実践者などに利用されることが多く、アメリカのように学校現場での利用となるとそれほど多くはありません。</p> <p>本事例紹介ではできるだけ学校などでの実践事例を中心に、これらのプログラムの実際をご存知ない方々のための体験も含めた形でご紹介していければと考えています</p>

●京都・環境教育ミーティング 事例紹介エントリーシート●

※以上の内容は、京エコロジーセンターのホームページで公開されています。